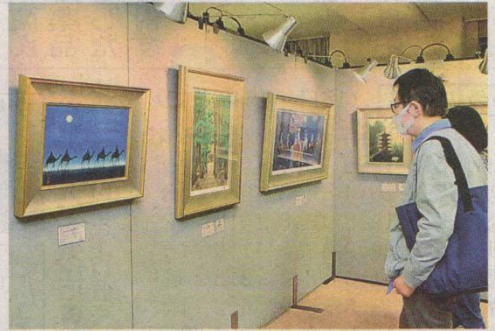


世界平和祈る名作数々

新居浜「平山郁夫展」40点並ぶ

平山郁夫さんの作品を鑑賞する来場者



【紙面編集】三好伸佳

日本画家の平山郁夫さん（1930〜2009年）の版画展「シルクロード・仏教伝来 平和への祈り」が、新居浜市大生院の県総合科学博物館で開かれている。入場無料で17日まで。

会場には、本格的にデビューした1959年の作品「仏教伝来」から晩年に完成させた「万葉月華図」まで、50年間の創作活動で手がけた約40点が並ぶ。広島県出身で中学生のときに被爆した平山さんは、世界平和を願って

シルクロードを歩き、約160回の海外取材を敢行。平山作品の代表作の一つであるラクダに乗った行商人を描いた「パルミラ遺跡を行く」などもある。

訪れた人はスタッフの説明を聞きながら熱心に鑑賞し、作品に込められた平山さんの平和へのメッセージに思いをさせていた。

作品は購入もでき、収益の一部は日本ユネスコ協会連盟の東日本大地震災子ども支援募金とウクライナ緊急募金に寄付する。（石川美咲）

ギャラリー Gallery

愛媛

◆平山郁夫版画展 17日まで、新居浜市大生院の県総合科学博物館（0897・40・4100）第1研修室。平山さんの「パルミラ遺跡を行く」など代表的な版画など約40点を展示。入場無料。午前9時半〜午後5時半。